

2014年度

アメリカ高齢者住宅視察 募集のご案内

期 間：2014年11月2日（日）～11月9日（日）（6泊8日）

訪問先：アメリカ（ノースカロライナ州チャペルヒル、ワシントンD.C.）

旅行代金：¥499,400（1人部屋）

※ 上記旅行金には「燃油特別付加運賃」は含まれておりません。

（ご参考：8月13日現在の燃油特別付加運賃は¥50,600です。）



旅行企画：一般財団法人 高齢者住宅財団
旅行取扱：近畿日本ツーリスト株式会社

ごあいさつ

今年度はベビーブーマー世代の高齢化に伴い、わが国と同様に、高齢者の住宅とケアの在り方に関心が高まりつつあるアメリカを訪問します。

高齢者居住やケアを公的セクターが担う北欧と比べ、アメリカは民間主導と言われてきました。アシスティッド・リビングやケアホーム、ナーシングホーム、CCRC（Continuing Care Retirement Community 継続ケア付き定年退職者コミュニティ）等の多様な高齢者住宅が開発されてきましたが、高齢者の約90%が地域社会の一般住宅に居住し、在宅希望が高いという実態から、近年は「エイジング・イン・プレイス」という理念のもと、高齢者にやさしい住宅やまちづくり、居宅・地域サービスの拡充が図られており、その最新の動向が注目されています。

本企画は、アメリカの高齢者居住に詳しいクルーム洋子氏にコーディネートをお願いしております。ノースカロライナ州のチャペルヒルと首都ワシントンを中心に行程を組み、州政府における高齢者政策についてのレクチャーや意見交換、多様化するCCRC、低所得者の高齢者用住宅、住民主導型のビレッジ・ムーブメント、PACE、シニアセンター、そして世界最大の高齢者団体であるAARP等を訪問し、アメリカの住まいとケアの現状について包括的に学ぶ予定です。また、各視察先で研究者やプロジェクトの責任者、入居者との交流やディスカッションの機会もふんだんに用意しており、アメリカの高齢者の生活感や志向、事業者の創意工夫や最新の動向等を直接、感じ取って頂けることでしょう。

是非とも本企画への参加をご検討いただきたくお願い申し上げます。

【コーディネーター】 クルーム洋子（くるーむ ようこ）

東京都出身。国際基督教大学卒業。ノースカロライナ大学ソーシャルワーク修士、同大学公衆衛生学部博士号取得。

ノースカロライナ州立精神病院高齢者病棟ソーシャルワーカー、ノースカロライナ州高齢者対策部門・企画調査主任、ノースカロライナ州立大学機構准教授を歴任。クリニカル・ソーシャルワーカーのライセンスを有し、現在はコンサルタントとして、研究・教育活動に従事。

<海外社会保障研究 Autumn2008 No.164：特集・世界の高齢者住宅とケア政策>

「アメリカの高齢者住宅とケアの実情」（クルーム洋子）

<http://www.ipss.go.jp/syoushika/bunken/data/pdf/18879307.pdf>

【団長】 高橋 紘士（たかはし ひろし）

国際医療福祉大学大学院医療福祉学分野教授、高齢者住宅財団理事長。法政大学教授、立教大学教授などを経て現職。

有料老人ホーム協会理事、高齢者住宅推進機構理事、厚生労働省政策評価に関する有識者会議座長、東京都社会福祉審議会副会長などを兼務。厚労省地域包括ケア研究会などの他、国交省、総務省等で各種委員会委員歴任。

著作として、「地域包括ケアシステム」「地域包括支援センター実務必携」（編著、以上オーム社）、「地域包括ケアシステム」（分担執筆、慶応大学出版会）、「高齢者の権利擁護システム」（共編、勁草書房）「介護保険のマネジメントシステム」（共著、医学書院）など。

日程表(予定)

2014年11月2日(日)～11月9日(日) (6泊8日)

	月 日	発着地/滞在地名	時間	交通	行 動	食事
1	11月2日 (日)	成田空港 東京(成田)発 ワシントン着 ワシントン発 ラーレー・ダーラム着	9:00 11:10 9:40 12:36 13:45	NH-2 UA-3749 専用バス	成田空港に集合。 空路、ワシントンへ(所要時間:12時間30分) (時差-14時間) 空路、ラーレー・ダーラムへ(所要時間:1時間9分) 到着後、チャペルヒルホテルへ ＜チャペルヒル泊＞	朝:機内 昼:機内 夕:○
2	11月3日 (月)	チャペルヒル	午前 午後	専用バス	オリエンテーション、CCRC、PACE施設 ●オリエンテーション(クルーム氏) ●ファリントンビルに移動 ギャロウェイリッジ(CCRC) ●PACE施設見学 ●チャタム高齢カウンスル訪問、高齢行政関係者との ディスカッション ＜チャペルヒル泊＞	朝:ホテル 昼:○ 夕:○
3	11月4日 (火)	チャペルヒル	午前 午後	専用バス	CCRC、プレゼン、バスツアー ●キャロルウッズ(CCRC) 施設見学、地域とのかかわりの説明、入居者との交換会 ●プレゼン シェリー・ローズモンド氏、リチャード・クルーム氏 ●シーモニアセンター・フレイザ氏のガイドによるバスツアー (低所得者用高齢者住宅、GH、ナーシングホーム、アシステッド リビング、デイサービス、高齢者向けに設計された個人住宅) ＜チャペルヒル泊＞	朝:ホテル 昼:○ 夕:○
4	11月5日 (水)	チャペルヒル ラーレー・ダーラム発 ワシントンDC着	午前 午後 19:35 20:40	専用バス UA-4686	CCRC、シーモニアセンター ●シーダーズ(CCRC)訪問 ●シーモニアセンター訪問 施設見学、視察団とセンター関係者として オープンディスカッション *高橋団長プレゼン 空路、ワシントンDCへ 到着後、ホテルへ ＜ワシントン泊＞	朝:ホテル 昼:○ 夕:○
5	11月6日 (木)	ワシントン	午前 午後	専用バス	キャピトルヒルビレッジ、AARP ●キャピトルヒルビレッジ訪問 ●途中、AARP訪問 ●キャピトルヒルビレッジ訪問 継続 ＜ワシントン泊＞	朝:ホテル 昼:○ 夕:○
6	11月7日 (金)	ワシントン	午前 午後	タクシー	リーディングエイジ ●リーディングエイジ訪問 自由行動 ＜ワシントン泊＞	朝:ホテル 昼:× 夕:○
7	11月8日 (土)	ワシントンDC発	8:30 9:30 11:40	専用バス NH-1	ホテルから空港へ 空港到着 空路、東京(成田)へ ＜機中泊＞	朝:ホテル 昼:× 夕:機内
8	11月9日 (日)	成田空港着	15:25		(時差+14時間)着後、入国審査、荷物受取後解散となります。	朝:機内

※講師や現地の事情等により、視察施設や講義内容等が変更になる場合がございます。



アメリカ ノースカロライナ州基本情報

【人口】 約954万人

【地理】 総面積 139,390k m²

【言語】 公用語は英語

【宗教】 他の南部州と同じく、最大のプロテスタント宗派がバプテストであり、圧倒的にプロテスタントである。

【政体】 行政府、立法府、司法府の3権が分立している。
ノースカロライナ州知事が率いる州務委員会、下院と上院の両院制議会、ノースカロライナ州最高裁判所を頂点とする司法体系である。

【産業】 主に織物、化学工業、電気機器、紙及び紙製品

【通貨】 USドル 1ドル=102円(2014年8月現在)

月	最低	最高	月	最低	最高
1	-2	10	7	19	32
2	0	12	8	19	31
3	3	17	9	15	27
4	8	22	10	8	22
5	13	26	11	3	17
6	17	30	12	0	12

チャペルヒルの月別平均最低・最高気温(℃)

【チャペルヒル】

アメリカ合衆国ノースカロライナ州中央部に位置する町。ダーラムの西に隣接する。

人口は57,233人(2010年国勢調査)。町域面積は約51km²で、そのほとんどはオレンジ・カウンティに属し、一部がダーラムにまたがっている。チャペルヒルには全米最古の州立大学であるノースカロライナ大学チャペルヒル校がキャンパスを構える大学町として知られている。

オレンジを含む3つのカウンティ(オレンジ、デューラム、州都のロリーのあるウェーク)は総合して、トライアングル・エリアと呼ばれている。それぞれに州を代表する3つの大学があり、この3大学を結ぶ三角形の中が、リサーチ・トライアングル・パークと呼ばれる大企業の研究所が集中する特別区域になっている。

この地域には知識人が集中し、生活程度も全国的に上位である。チャペルヒルは、全国紙のアンケートで最も住みたい町の第一位になったこともある。



視察先等の概要

1日目 11月2日(日)

午前中に成田空港を出発し、午後チャペルヒルに到着します。時差は-14時間です。
ラーレー・ダーラム空港からチャペルヒルのホテルへバスで移動します。

2日目 11月3日(月)

●オリエンテーション

「アメリカの高齢者住宅事情の概観」(クルーム洋子氏)

●ギャロウェイリッジ (CCRC)

ノンプロフィットのCCRC。4日訪問のキャロルウッズ、5日訪問のシーダースの中間的な存在。

●PACE 施設見学

ノースカロライナ州で最も新しいPACEプログラム。このプログラムの利用条件は低所得の高齢者であり、看護ケアを必要とすること。

●チャタム高齢カウンスル訪問、ストリーツ氏他、高齢行政関係者とのディスカッション

3日目 11月4日(火)

●キャロルウッズ (CCRC) 施設見学、地域との関わりの説明、入居者との交換会、昼食。

キャロルウッズは、数々の賞を受賞し、全米有数のCCRCの老舗の一つである。ノンプロフィットのCCRCの代表例で、入居者も非常に活動的で、オレンジ・カウンティの政策や大学とも密接な協力関係にある。

●プレゼンテーション

「オレンジ・カウンティの高齢者住宅の概要」(シェリー・ローズモンド氏)

「高齢者と環境」(リチャード・クルーム氏)

●シーモニアセンターのフレーザー氏のガイドによるバスツアー

【訪問先】低所得者用高齢者住宅、グループホーム、ナーシングホーム、アシステッドリビング、
デイサービス、高齢者向けの設計された個人住宅

4日目 11月5日(水)

●シーダース (CCRC) 訪問

シーダースは持家制度のCCRCであり、ホスピタリティー産業系の経営で、高級ホテルのような施設である。シーダースは、計画的なまちづくりの例としても大変興味深い。場所は、チャペルヒルの市外区域内に最後に残っていた広大な牧場を20年ぐらい前に開発業者が買い受け、町の中のまちづくりという構想で開発された。その一角をシーダースが占めている。スーパー、レストラン、各種店舗、医療施設、低所得者用住宅*から高級住宅等が広大な敷地内に存在する。(＊チャペルヒルでは、一部、低所得者向け住宅が含まれていなければ、このような開発の許可が下りない。)

●シーモアシニアセンター訪問

ノースカロライナ州はカウンティ毎に高齢者サービスの拠点をシニアセンターに置くシステムを取っているが、シーモア・シニアセンターはその中でも代表的なセンターで活気に満ちている。

施設見学後、センター関係者とオープンディスカッション。テーマは、「高齢者が生活できる地域づくり：実績と目標」

5日目 11月6日(木)

●キャピトルヒルビレッジ訪問

幅広い高齢者層が住み慣れた土地に住むのを助けようという試み。この試みは全国的に広がっている。

●AARP訪問

世界最大の高齢者の団体。

6日目 11月7日(金)

●リーディングエイジ訪問

アメリカの高齢者サービスの関係団体全てを代表する組織。

7日目 11月8日(土)

午前に空港へ向かい、お昼前にワシントンを出発します。

8日目 11月9日(日)

午後、成田空港に到着します。

※講師や現地の事情等により、視察施設や講義内容等が変更になる場合がございます。

ナーシングホーム

ナーシングホームは、要介護の高齢者を対象とし、24時間型の介護・看護のフルサービスが受けられる介護専用ホームである。

アシステッドリビング

アシステッドリビングは、身体的に弱化した高齢者を対象とするもので、食事、家事援助、入浴など身体に関する介助や24時間緊急監視サービスなどが付帯する準健常賃貸住宅である。

CCRC (Continuing Care Retirement Community 継続ケア付き定年退職者コミュニティ)

種々の高齢者を対象として、インディペンデントリビング(健常、自立の生活を行える人のための住宅)から、アシステッドリビング、ナーシングホームまでを設置し、各機能を総合的につなげることによって継続的な終身居住を保障した住宅である。

PACE (Program of All-Inclusive Care for the Elderly)

PACEは健康面で問題を抱えた高齢者の方々に地域ケアを基本とした、包括的なヘルスケアを提供するユニークなモデルである。医療専門家、看護師、理学・作業療法士、ソーシャルワーカー、栄養士、在宅ケアワーカー、活動コーディネーターなどがチームとなり、要介護状態の高齢者に必要な介護・医療サービスを提供する。

AARP

世界最大の高齢者によるNPOである。以前は「American Association of Retired Persons(全米退職者協会)」であったが、1999年から「AARP」が正式名称となった。

50歳以上の人たちのための、特定の政党支持をしない会員制NPO(非営利組織)です。会員に情報や資源の提供、立法および法的権利の擁護、地域社会に奉仕する会員の支援、独自の会員特典として特別の商品・サービスを幅広く提供している。

複写可

2014 年度 アメリカ高齢者住宅視察 お 申 込 書

—お申込書送付先—
(一財) 高齢者住宅財団
担当：小川
TEL：03-6672-7227
FAX：03-3206-5256

(必要事項を記入し、該当する□にレを付けてください。)

パスポート通りの ローマ字表記			性別	男 ・ 女	生 年 月 日	大・昭・平 (西暦)	年	月	日	
氏 名										
フリガナ	(〒)				電話		()	—		
現 住 所										
勤 務 地	名 称									
	部 署					役 職				
	英文名称									
	英文部署									
	英文役職									
	フリガナ									
	現 住 所	(〒)								
	電 話	()	—	F A X		()	—			
E-mail アドレス					携帯電話					
渡航中の 国内連絡先	氏 名			続柄			電 話	()	—	
	住 所	(〒)								
事務連絡 担 当 者	所属部署					電 話	()	—		
	氏 名					F A X	()	—		
旅券の有無 (パスポート)	<input type="checkbox"/> 有	旅券番号：				発行年月日	年	月	日	
		※入国時3ヵ月+滞在日数の残存有効期間が必要			有効年月日	年	月	日		
	<input type="checkbox"/> 無	年 月頃取得予定 (取得後、旅行会社宛にご連絡ください)								
米国 ESTA 申請代行	<input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない									
請求書・領収書等の宛名					送付先	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 会社				
た ば こ	<input type="checkbox"/> すう <input type="checkbox"/> すわない (今回利用の航空機は全席禁煙です)									
ビジネスクラス	<input type="checkbox"/> 申し込む (<input type="checkbox"/> 窓側 <input type="checkbox"/> 通路側) <input type="checkbox"/> 申し込まない									
通信欄 ※パスポートをお持ちの方はコピーも一緒に FAX してください。										